

# INFORMATION Book

中央公民館  
図書室からの  
お知らせです

# ほん 大好き



中央公民館図書室 ☎42局7200番

## 今月新しく入りました。

※2月の新刊は、1日（木）からの貸出となります。

### 一般の本

- ・ふたご（作＝藤崎彩織）
- ・僕はロボットごしの君に恋をする（作＝山田悠介）
- ・友情 平尾誠二と山中伸弥「最後の一年」（作＝山中伸弥／平尾誠二・恵子）

### 子どもの本

- ・きのうえのおうちへようこそ！（作＝ドロシア・ウォーレン・フォックス）
- ・地震がおきたら（原案＝谷 敏行）
- ・よるだけパンダ（作＝大塚健太）

## 中でもこの本がオススメです。



### パーマネント神喜劇

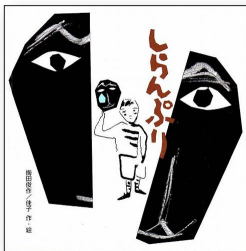
作＝万城目 学

「今からあなたの願いをひとつだけ叶えてあげる」。デートの途中、突然時が止まった。動かない街に現れたのは、「神」と名乗るあやしげな男たち。肩を叩かれ戻った世界は、あれ、何かが違う…？ 神頼みエンターテインメント。

### ひげじまん

作＝こしだミカ

なが～いひげが自慢のおおなます。住みなれた池を飛び出して、ひげじまんの旅にでました。その先で会おうひげじまんとちに勝負を挑みます。どんなひげも自分のひげにはかなわないと、生意気なおおなますですが…。いちばんりっぱなのはだれのひげ？



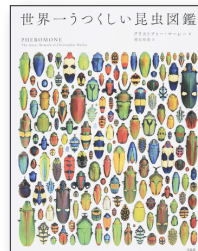
### しらんぷり

作＝梅田俊作・佳子

「いじめ」はどの時代にもあります。さわらぬ神とやらで、見ても「しらんぷり」をしがちです。最悪は転校するか自殺です。でもこの本の中の少年は、小学校卒業式の会場で、

「いじめ」はどの時代にもあります。さわらぬ神とやらで、見ても「しらんぷり」をしがちです。最悪は転校するか自殺です。でもこの本の中の少年は、小学校卒業式の会場で、

「いじめ」はどの時代にもあります。さわらぬ神とやらで、見ても「しらんぷり」をしがちです。最悪は転校するか自殺です。でもこの本の中の少年は、小学校卒業式の会場で、



### 世界一うつくしい昆虫図鑑

作＝クリストファー・マーレー

大自然の美を見せたい本。美しい昆虫の姿を、色とりどりの天然色で身を飾ります。写真家が地球上を歩き、昆虫たちの目の覚めるような色

大 自然の美を見せたい本。美しい昆虫の姿を、色とりどりの天然色で身を飾ります。写真家が地球上を歩き、昆虫たちの目の覚めるような色

本は知識を深めるだけでなく、人と人とのつながりを広げてくれます。新たな本との出会いは新たな人との出会いの始まり。広がる本ならではの、新たな本との出会いの場として、毎月おすすめの本を2冊紹介します。今月の紹介者は渡辺栄子さんです。

# 広がる本だな

／2月の休館日は、7日（水）です。

／開館時間は午前9時から午後5時まで／返却期限が過ぎている本は、至急ご返却ください

Dr. 寶地の

## 調子はいかが？

くらで病院 ☎42局1231番

くらで病院スタッフ  
からの健康  
アドバイスです



アレルギー性鼻炎(花粉症)の新しい治療法について教えてください。(30歳女性)

### アレルギー性鼻炎は国民的な悩みの種

くしゃみ、鼻水、鼻づまりを3主症状とするアレルギー性鼻炎は、日本国民の30パーセント以上がかかっているといわれる厄介な病気です。その中でも2月から4月に症状が出現するスギ花粉症は、都市部や若年者を中心に近年さらに患者数が増加傾向にあるとの報告もあり、しばしば社会問題として取り上げられています。

### 治療の主流は薬物療法

治療は抗原回避、薬物療法、アレルゲン免疫療法(減感作療法とも呼ばれます)、手術療法に大別されますが、実際の臨床においては効果や安全性が高

く、簡便でもある薬物療法が中心となります。ただし、薬物療法は、症状を引き起こす化学物質をブロックしたりすることで一時的な改善をもたらす対症療法であり、根本的な治療ではありません。

### 根本的に治すには

アレルゲン免疫療法は、原因である「アレルゲン(抗原)」を少量から投与することで、体をアレルゲンに慣らし、アレルゲンに対する過敏な状態を改善させる治療法で、アレルギー症状を根本的に治す可能性のある唯一の治療と考えられています。

日本では2014年以降、スギ、ダニに対するアレルギー性鼻炎に対して舌の下に薬剤を

投与する「舌下免疫療法」が保険適応になりました。実際の方法は、舌の下にアレルゲンの含まれた薬を保持したまま数分間そととしておき、その後に飲み込みます。最初の1〜2週間で量を増やしていき、その後、同じ量の薬を連日舌の下に投与します。初回の舌下投与のみ医療機関で医師の観察下に行いますが、以降は毎日自宅で

### 手術による治療も

アレルギー性鼻炎で症状の強い人や薬での治療で効果が乏しい人は、鼻の奥にある「後鼻神経」という神経を、内視鏡で見ながら切断することで鼻炎の症状を改善させる「後鼻神経切断術」を行うこともあります。アレルギー性鼻炎が完治するわけではありませんが、鼻炎症状が抑えられる非常に効果的な手術です。通常、全身麻酔下で行い、数日間の入院が必要です。

鼻の症状で困っている、現在の治療に満足していない、薬をやめたいなど、アレルゲン免疫療法や手術に興味のある人は、お気軽に耳鼻咽喉科医にお尋ねください。

アレルギー症状の一時的な改善をもたらす薬物療法のほかに、症状を根本的に治す可能性のある「アレルゲン免疫療法」や鼻炎の症状を改善させる「後鼻神経切断術」があります。



### 「アドバイザー」

寶地信介・ほつちのぶすけ・平成11年産業医科大学医学部卒業。平成19年同大医学部耳鼻咽喉科学助教、平成25年耳鼻咽喉科・頭頸部外科講師を経て、平成28年11月に耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局長に就任。くらで病院耳鼻咽喉科に非常勤医師として勤務。日本耳鼻咽喉科学会認定専門医、日本耳鼻咽喉科学会認定騒音性難聴担当医、日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門研修指導医、補聴器適合判定医。